

公共交通不便地域の抽出に関する研究の概要

1 研究のねらい

- ・自動車に依存による環境悪化の問題，また高齢化の進展による高齢者を取り巻く環境の変化などから，自動車に依存しない公共交通を中心とした交通行動が必要である。
- ・そこで，宇都宮市において公共交通の各種政策検討を行う際に必要となる現在の公共交通の状況を把握するために，宇都宮市における公共交通の不便な地域（公共交通不便地域）を大枠で把握する事が必要であることから調査研究をすることとした。

2 経過

- ・研究方式 専門研究嘱託員 自主研究 / 他課に対する政策形成支援
- ・研究の流れ みや研 GIS の整備（17.5～17.12）
公共交通不便地域に関する情報収集（17.5）
GIS 分析用データの入力（17.6～7）
GIS を用いた分析（17.8）
関連する研究分野の整理（17.9～18.2）

3 研究結果

みや研 GIS としてのデータ基盤の整備

- ・本市の各種政策研究に必要となる GIS データを利用できる形で整備した。
これまでは，人口データなどが主であったが，公共交通（バス）網などを再現

数値としての不便地域の算出

- ・これまで，手作業で不便地域を把握していた事から算出が難しかった面積を，GIS を用いることにより簡単に算出できるようにした。これにより，本市においては約 7 割が，バス利用にとって不便な地域であることが把握できた。

面積(km ²) 割合					
市域全域面積	312.16			面積	割合
カバー圏域(バス)	79.95547	25.61%	不便地域(バス)	232.2045	74.39%
カバー圏域(鉄道)	37.95117	12.16%	不便地域(鉄道)	274.2088	87.84%
カバー圏域(バス&鉄道)	97.76792	31.32%	不便地域(バス&鉄道)	214.3921	68.68%

可住地面積	248.48	79.60%			
カバー圏域(バス)	79.95547	32.18%	不便地域(バス)	168.5245	67.82%
カバー圏域(鉄道)	37.95117	15.27%	不便地域(鉄道)	210.5288	84.73%
カバー圏域(バス&鉄道)	97.76792	39.35%	不便地域(バス&鉄道)	150.7121	60.65%

視覚的な不便地域の算出

- GIS を用いる事で、これまで手作業で行っていた作業を PC 上で処理
- ・ 基本的なデータ（バス路線、バス停留所位置）などを入力することができたので、今後修正する作業などが容易に行う事が可能である。

